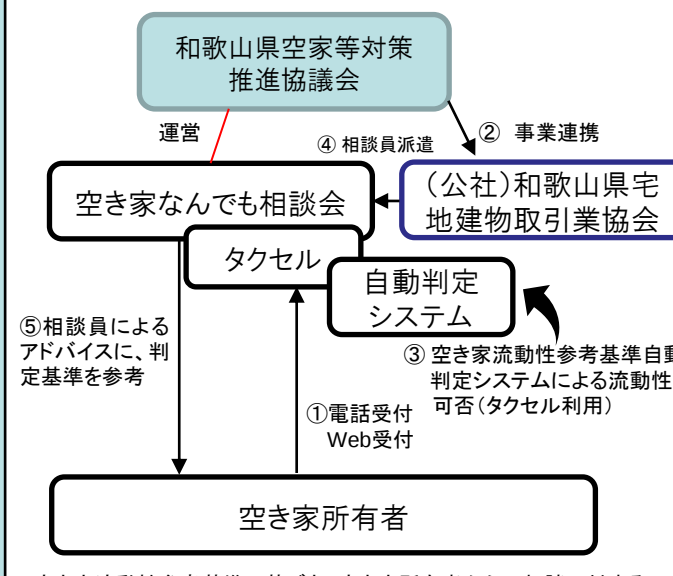


公益社団法人和歌山県宅地建物取引業協会

事業概要	令和4年度に和歌山県より委託を受け、空き家流動性の有無について参考となる「空き家流動性参考基準」を構築したところ、この基準は、空き家相談内容を解決する上でその有用性、可能性の観点から空き家対策に大きく貢献することがわかった。このため、本基準を自動で算出するシステムの構築を行い、わかやま総合相談webシステム「タクセル」と新たにデータ連携すべく改修を行った。
------	---

事業者情報	
団体名	公益社団法人和歌山県宅地建物取引業協会
所在地	和歌山県和歌山市太田143-3
設立時期	1960年3月
団体HP	https://wakayama-takken.com/
活動地域	和歌山県全域
事業スキーム	凡例 ...実施事業者 ...自治体 ...その他連携先  <pre> graph TD A[和歌山県空家等対策推進協議会] -- ② 事業連携 --> B["(公社)和歌山県宅地建物取引業協会"] B -- ④ 相談員派遣 --> C[空き家なんでも相談会] C -- ⑤ 相談員によるアドバイスに、判定基準を参考 --> D[空き家所有者] D -- ① 電話受付 Web受付 --> E[タクセル] E --> C E --> F[自動判定システム] F -- ③ 空き家流動性参考基準自動判定システムによる流動性可否(タクセル利用) --> G[自動判定システム] </pre> 和歌山県空家等対策推進協議会 運営 / ② 事業連携 ④ 相談員派遣 空き家なんでも相談会 タクセル 自動判定システム ⑤ 相談員によるアドバイスに、判定基準を参考 ③ 空き家流動性参考基準自動判定システムによる流動性可否(タクセル利用) ① 電話受付 Web受付 空き家所有者 空き家流動性参考基準に基づき、空き家所有者からの相談に対するアドバイスの品質を向上させるため、基準の自動判定システムの構築及びシステム検証を実施した。

取組内容及び成果	
1. タクセル改修及び自動判定システム開発における要件定義協議	当会専門家並びに和歌山県担当者、相談窓口担当者からの意見をフィードバックし、自動判定システムの要件定義を行った。  <pre> graph TD A[タクセル] -- 連携 --> B[アプリ] B -- 帳票出力 --> C[追加入力フォーム] C -- 詳細構成図 --> D[] </pre> Googlemap連動(住所入力) 帳票出力 追加入力フォーム 詳細構成図
2. 自動判定システム開発及び改修	上記1. で定義された要件に従い、当会にてシステム開発及び関連する改修を行った。
3. 評点定義妥当性の検証	構築された自動判定システムの評点妥当性を検証するため、空き家現地調査を実施し、妥当性が確認できたことから、タクセルへの実装を行った。  タクセルシステム画面 No.428230298 評点: 10点 流動性あり 接道 公道4m ...eto